

「中計2026」の進捗状況

2024年度－2026年度

2024年11月20日

芝浦機械株式会社

中計2026

2024年度～2026年度

1

基本方針

中計2026 の基本方針

定量目標

2026年度目標値
連結ベース

売上高
2,000億円

営業利益率
10.0%

ROE
9.5% 以上

(参考) ROIC 9.0% 以上

事業の方向性を示す方針



成長するマーケットを見定め、全体利益が最大化になるよう、事業ポートフォリオを組み替え



顧客の生産性向上に寄与するシステムエンジニアリング（ターンキー）装置販売・直販への軸足シフト



2030年度 3000億円企業へジャンプアップするための経営基盤の準備

基盤となる方針



事業ポートフォリオ組み替えにリンクした人材戦略

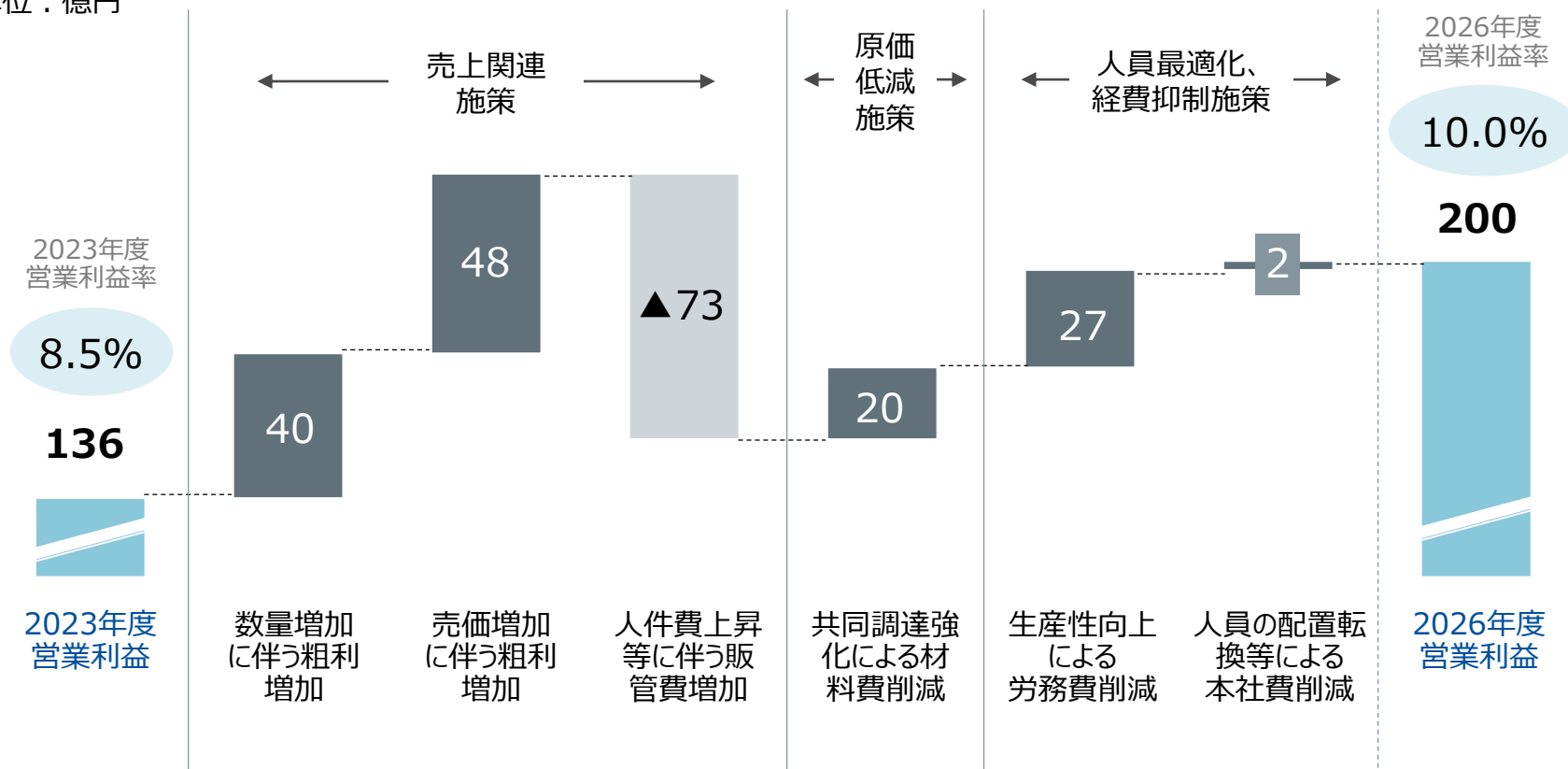


ESG経営の推進


損益改善ウォーターフォール (2023年度 ⇒ 2026年度 営業利益)

施策面では**販売数量増加**に加え、**単価上昇**及び**共同調達**や**人員最適化**（人員増抑制・配置転換）によるコスト削減施策等の実施により、23年度比で**約64億円**の利益改善を想定

単位：億円



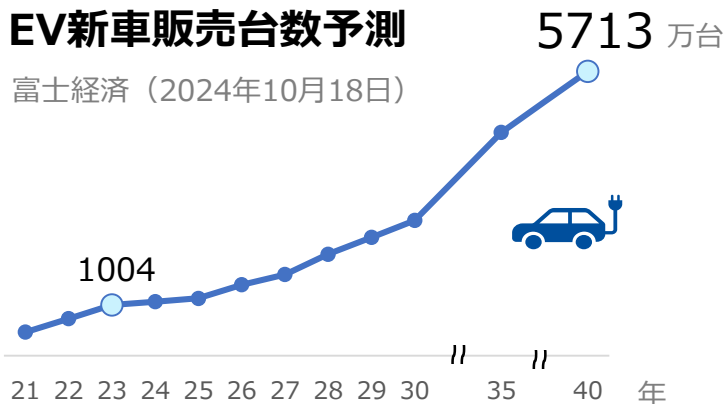
米国新政権下での当社事業への影響(考察)

 新政権政策	脅威	機会
対中国への貿易制裁強化	中国市場の停滞長期化 ⇒ 成形機の需要減 中国工場の操業悪化	—
メキシコからの輸入自動車への関税	メキシコ進出の日系自動車メーカーの設備投資停滞 ⇒ 成形機の需要減	—
米国以外の製品に関税	日本・タイ・インド工場からの輸出機の価格競争力減少 ⇒ 価格競争に巻き込まれない システムエンジニアリングへの注力	製造業の米国回帰による設備投資増 ⇒ 成形機、工作機械の 米国需要増
《環境・エネルギー政策》 化石燃料重視 → 石油・ガス増産	EVシフトの一時停滞 ⇒ 押出BSFの売上・生産の減少 ※ ただし、EV普及がそれほど大きく減速しないという推測もある ※ 欧州・中国でのEV化、米国以外の国での脱炭素、再生可能エネルギーの潮流は変わらない	ガソリン車、HVへの一時揺り戻し ⇒ エンジンブロック用ダイカストマシンの需要増 石油・ガスの掘削増加 石油・ガス運搬タンカーの建造 ⇒ 建機、鉱山機械、ポンプ、 タンカーエンジンブロック・スクリュ 切削用の工作機械の需要増

BSFの受注遅れに伴う 2026年度目標達成に向けた基本方針

■ EV新車販売台数予測

富士経済（2024年10月18日）



2023年調査時点では **2035年**に5774万台見込



2024年調査時点では **2040年**に5713万台見込に鈍化

EV普及に5年の遅れが発生

米国新政権下で更に遅延の可能性

足元での**BSF受注が計画に対し遅れ発生**



今まで当社売上高を牽引してきた押出成形機事業で**2025年度売上高が減少**



下記事業での挽回策で、2026年度の定量目標を達成する

射出成形機

ダイカストマシン

工作機械

超精密加工機

次章で説明

同時並行で**M&A**を積極的に進める

中計2026

2024年度～2026年度

2

カンパニー戦略

射出成形機事業 (1/2)

中国市場での対応 (利益率の改善)

- 米中貿易摩擦の激化
- 不動産不況
- 上海地区人件費高騰



中国(上海)工場

- 在庫機販売を早期に進め、新モデル(グローバル標準機)に切り替え
- **人員削減**による操業度悪化の抑制
- 生産のOEMを視野に入れ、中国工場の**生産量を絞り込む**

北米市場の拡大 (規模の拡大)



- 米国製造業の活性化
- 自動車部品大型化
(軽量化・生産工程削減のニーズ)

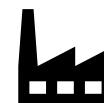
中大型機の引合増加



電動式 中大型機



油圧式 中大型機



日本工場



インド工場



射出成形機事業 (2/2) インド工場増産と販売計画

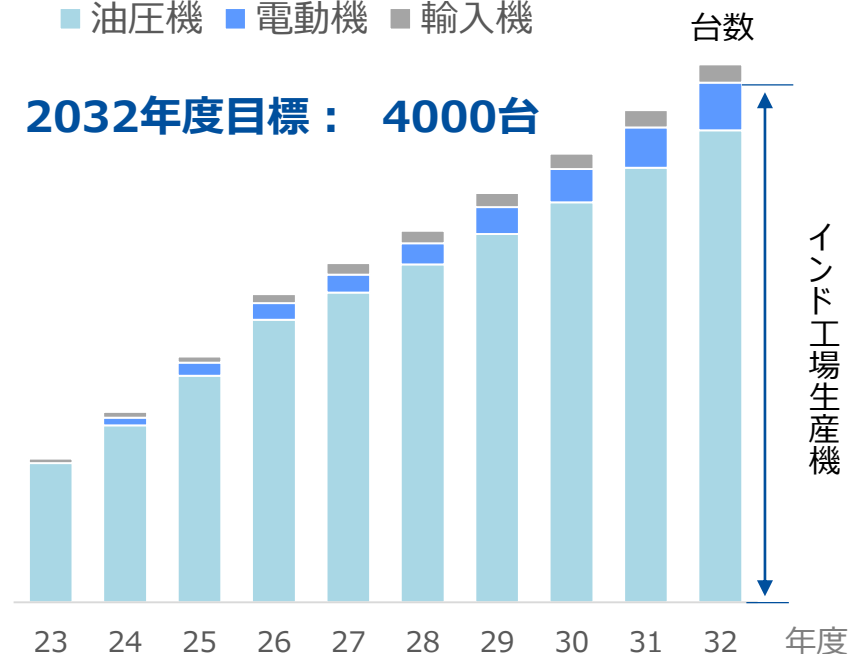


■ インド販売台数計画 (射出成形機)



■ 油圧機 ■ 電動機 ■ 輸入機

2032年度目標：4000台



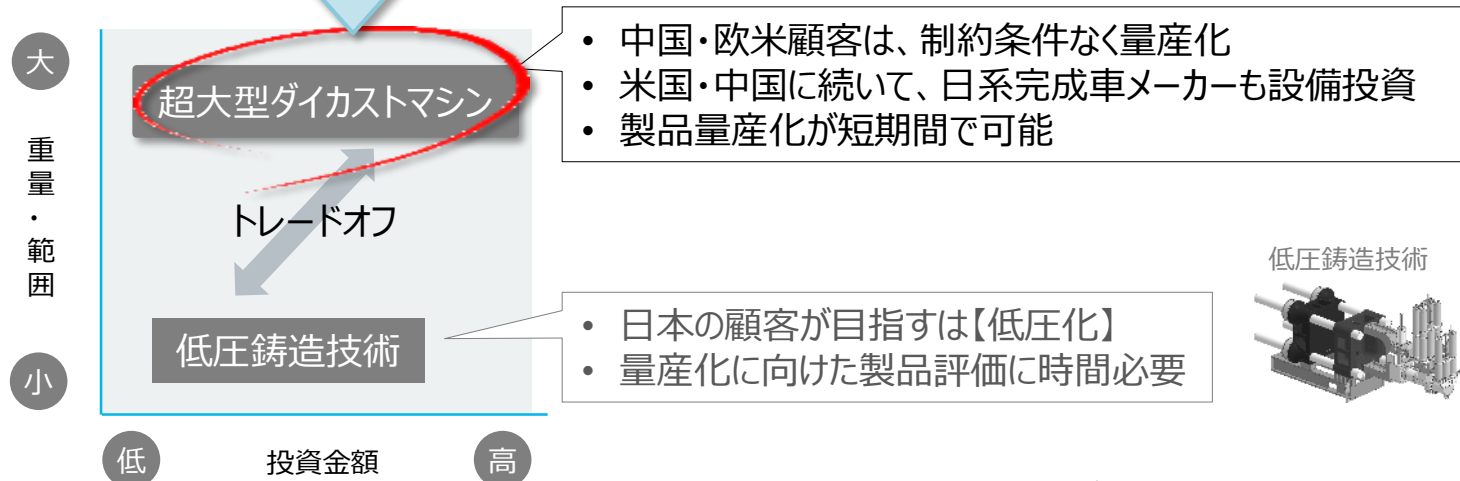
- 小型電動機の生産 (2024年度中、生産開始)
- 大型工作機械導入による部材加工の内製化
- 新テクニカルセンターの活用による拡販
- システムエンジニアリング販売

ダイカストマシン事業

ギガキャスト対応は、現在開発中の**低圧鑄造技術**に加え、**超大型ダイカストマシン**に参入する

	23Q2決算説明会時（1年前）	足元の状況
顧客の姿勢	顧客がギガキャスト導入に対してやや慎重姿勢の傾向	日系自動車メーカーがギガキャスト導入へ舵切り
当社の対応	➤ 低圧鑄造技術*	➤ 低圧鑄造技術* ➤ 超大型ダイカストマシン《新規参入》

省スペース／サービス対応力を強みとして
超大型ダイカストマシンに新規参入
 第1弾として**12000 t**クラスのマシンで
2025年度中の上市を目指す



* 事例：型締力3500tで、6000tクラスが鑄造できる成形品を実現する技術

工作機械事業

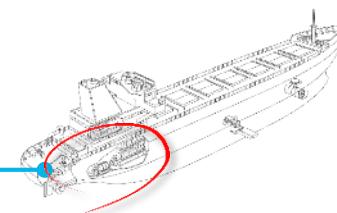
- 米国新政権下での**石油・ガスの掘削、運搬用船舶の需要、火力発電所の環境規制緩和**に対応



建機・鉱山機械の平台加工



石油・ガス運搬用タンカーエンジン加工
超大型工作機械



- 一方で、米国以外の地域では**再生可能エネルギーへのシフトが継続**することから、より大型化する**洋上風力発電機**に対応



洋上風力発電機 増速機加工



洋上風力発電機 増速機加工
大型横中ぐり盤

超精密加工機事業

日本 Upper層での拡販

□ 放電加工機ユーザーへ既存機を提案

ベベルギヤ（かさ歯車）金型



超精密加工機
UVMシリーズ

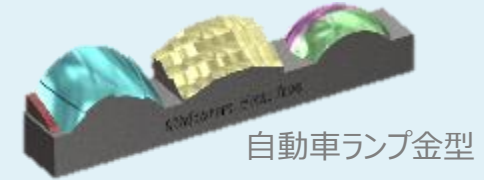


米国 Upper層での拡販

□ 営業・サービス人員を増員し、日本での実績をアピールポイントとして既存機を自動車産業へ注力

IMTS展（米シカゴ：2024年9月）の結果活用

実機と、自動車ランプのリフレクター用金型/レンズ金型/医療用金型を展示・PR

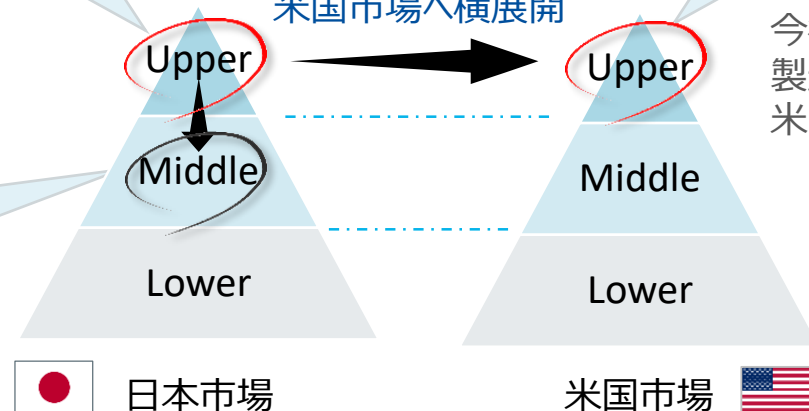


日本 Middle層での拡販



□ ボリュームゾーン用の新機種開発開始 (2025年度投入目標)

米国市場へ横展開



今後4年間、
製造業の米国回帰を機会と捉え
米国市場での拡販を図る

中計2026

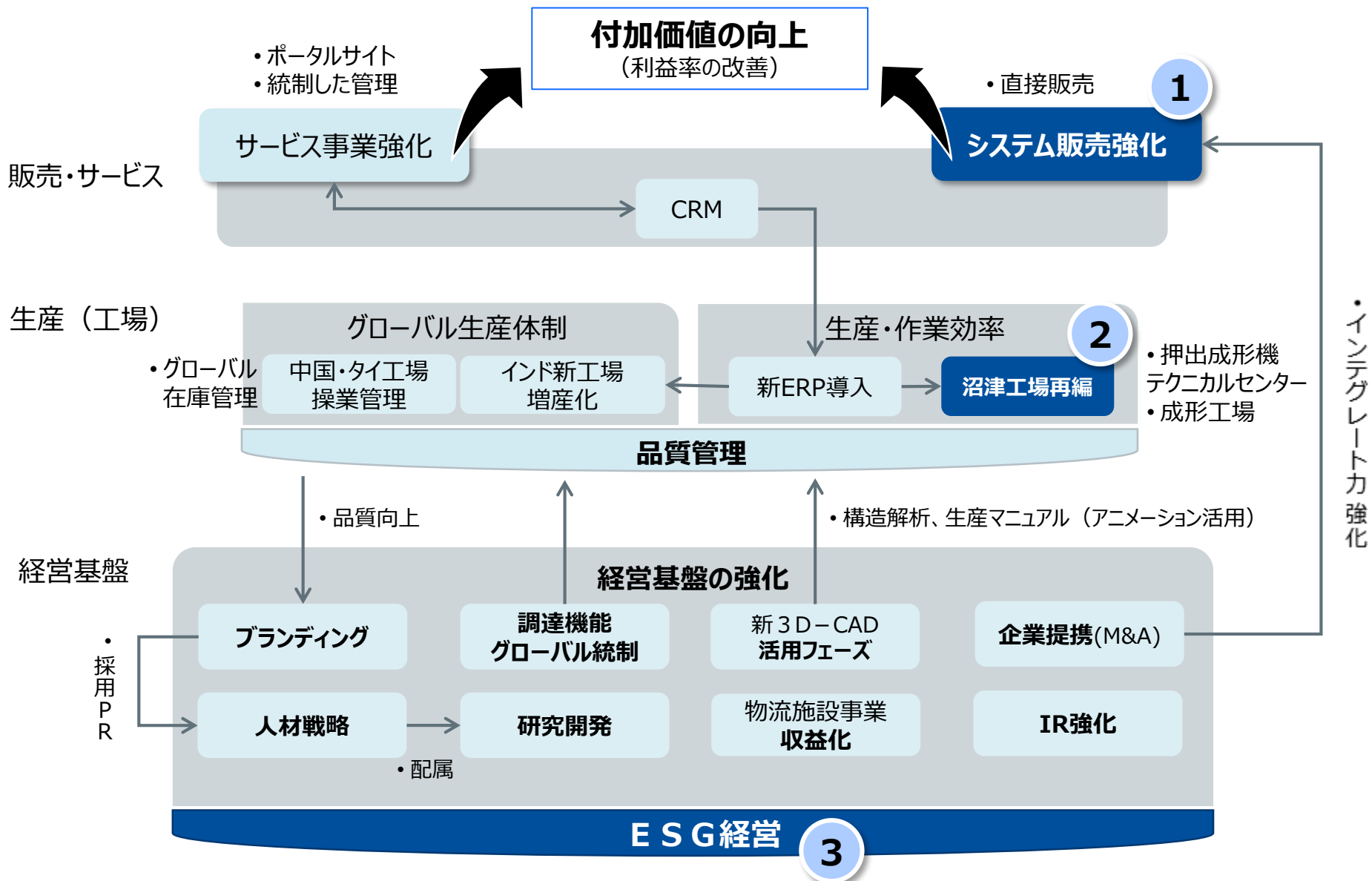
2024年度～2026年度

3

コーポレート戦略

(経営基盤の強化)

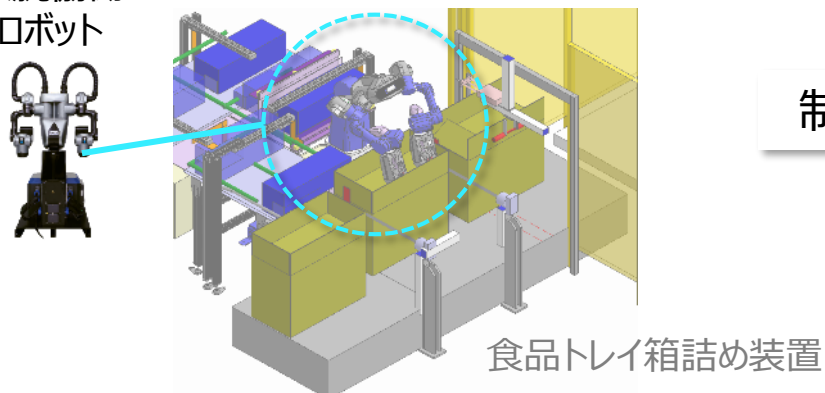
経営基盤強化の戦略・施策 俯瞰図



システムエンジニアリングでの取り組み

システム基本要素をマトリックス表で可視化し、必要要素を組み合わせでパッケージ化

双腕協働
ロボット

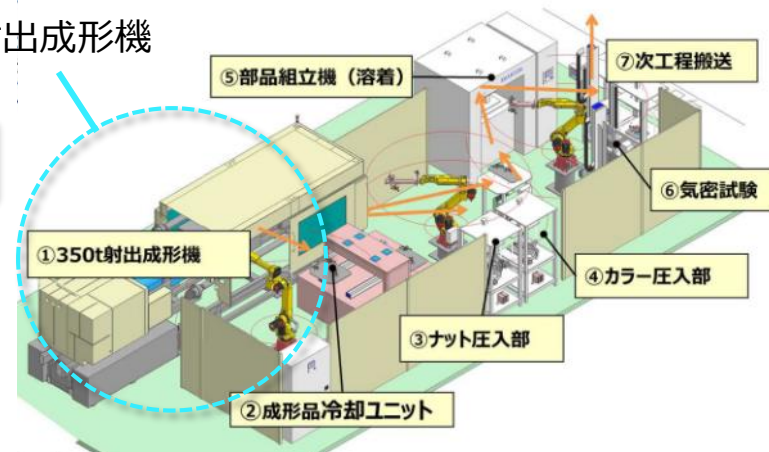


食品トレイ箱詰め装置

- 包装～搬送に双腕協働ロボットを組合せ
- 食品容器業界向けへ パッケージ商品として提案

射出成形機

制御技術



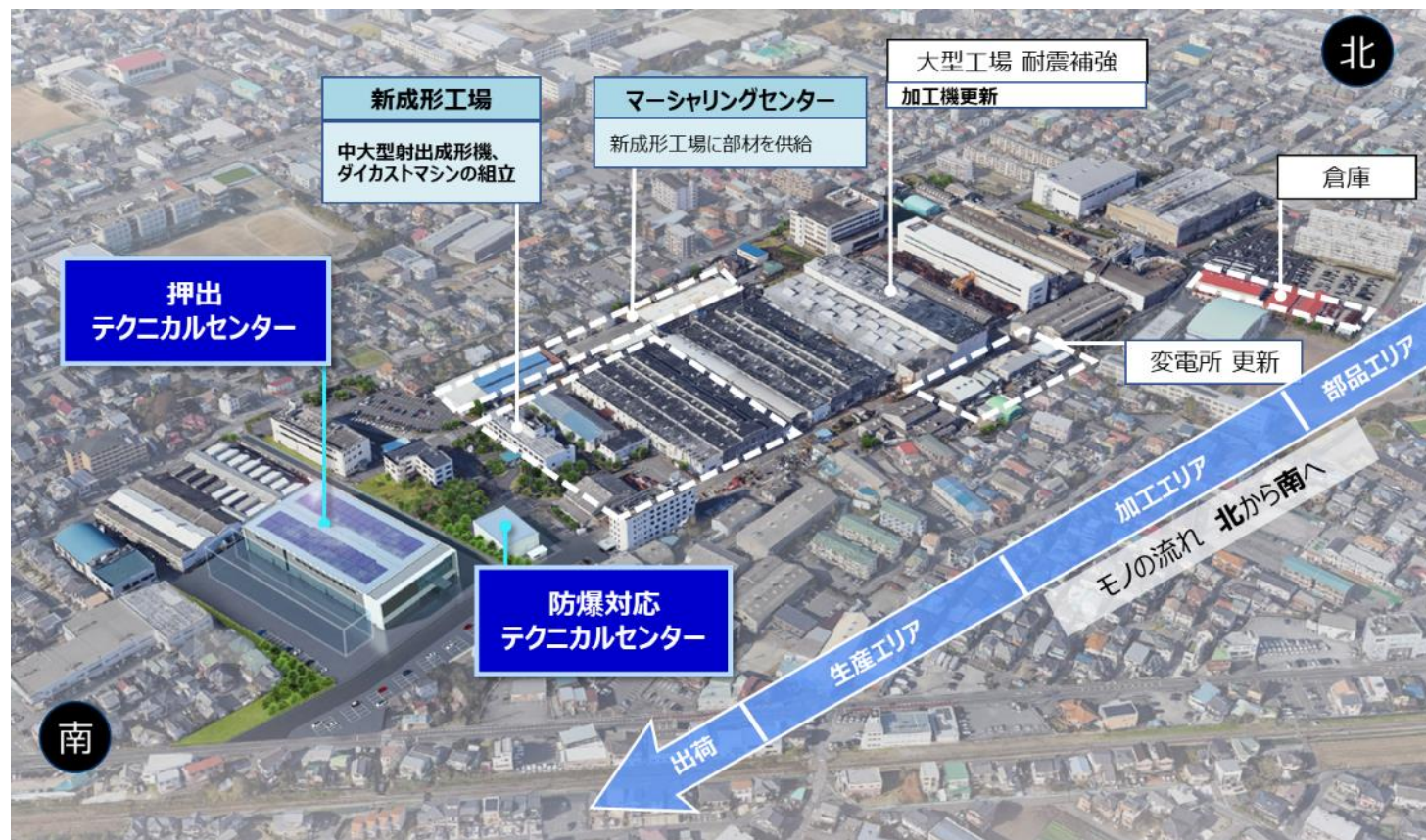
- 射出成形機の後工程を自動化
- 自動車、食品・飲料、医薬向けに提案

制御機械カンパニーの**制御技術**と、
テクニク(株) (2024年3月1日子会社化) の
ライン生産ノウハウを組み合わせ拡販を図る

Technolink



沼津工場再編（構想案）



沼津工場 南エリアの再開発に着手開始

- 第1期：押出テクニカルセンター 2棟の建設** … 成形テスト、次世代装置の開発に活用
 …現存工場解体費 6億円+ 新テクニカルセンター 2棟建設費60億円 2026年末竣工予定
- 第2期：新成形工場、マーシャリングセンター建設** … 射出成形機・ダイカストマシンの組立

ESG経営（2024年度 実績）



TCFD対応

（2024年6月24日開示）

E

分析時間軸	2030年、2050年
対象温度シナリオ	4℃、1.5℃
リスク・機会と財務影響度	8項目開示



外国籍執行役員の増加

（2024年6月24日）

S

- ✓ 外国籍執行役員
1名 ⇒ 2名（+1名増）
- ▶ 常務執行役員就任

成形機カンパニー 副カンパニー長
欧州・北米エリア責任者



女性取締役の割合増加

（2024年6月24日）

G

- ✓ 女性1名 ⇒ 2名（+1名増）

* 2名 / 12名 = 17%



株式報酬制度の改定

（2024年6月24日改定）

G

- ✓ 取締役に加え
役付執行役員にも対象拡大

Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル

TEL (03)3509-0444 FAX (03)3509-0336 URL : <https://www.shibaura-machine.co.jp>